

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」							
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギーに係る活動を実践する。	1	移動教室の際には電気やエアコン、扇風機を消すようにする。	全学年担任	教職員 児童	1. 移動教室の際には電気を消し、エアコンをつけている夏や冬は窓を閉めるように心がけた。エアコンの温度設定(暖房)を低めにし、扇風機と併用することで省エネルギーに取り組んだ。トイレや昇降口の電気は使う時だけつけるようにした。 2. 雑巾を洗う、牛乳パックを洗う際にも、その都度水をこまめに止めるように声掛けをした。 子どもたちの中で少しずつ節電・節水を意識できるようになってきた。 4. 国語科「よりよい学校生活のために」で、身近な学校生活の中での課題について、話し合い活動を行い、全校に呼びかける放送やポスターの制作などをした。 ・社会科の学習で学んだ「水の大切さ」「水は無限ではないこと」を、総合の時間を使ってくわしく調べて、低学年に発表した。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ・電気や水道の節約について、少しずつ子どもたちも意識できるようになってきたため。節電と節水と呼びかけ、教職員だけでなく児童においても意識的に行動できたため。 【今後の課題】 ・エアコンについては、気温によってこまめに消すことができなかったため、来年度は意識的にやりたい。担任自身が意識して取り組む必要がある。 ・リモコンを複数学級で使用しているため、こまめに調節をすることが難しい。台数を増やすことができるとよい。 【次年度への引継ぎ事項】
		2	雑巾を洗う時にはバケツを使う、こまめに水を止めるなど、節水と呼び掛ける。	全学年担任	教職員 児童		
		3	ツルレイシの栽培をしながら、グリーンカーテンを作り、省エネにつなげる。	4年理科担当 クラス担任	児童		
		4	国語科「よりよい学校生活のために」の学習の中で、松浪小学校の環境づくりについて考える。	5年担任	児童		
廃棄物の削減・4Rの取組	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみを減らす取組を推進する。	1	廃材を利用して工作を行う。	1年担任	児童	1. 図工では廃材を使用した工作に取り組んだり、生活科ではペットボトルをじょうろとして活用したりした。 2. 社会科の学習で学んだ「ごみの分別」を、総合の時間を使ってくわしく調べて発表準備を行い、低学年に発表することができた。 4. 国語科「自然環境を守るために」で、統計資料を活用しながら、家庭や学校、地域、日本など、さまざまな現状や対策方法について、意見文を書き、交流して、ごみやりサイクルについて考えた。 5. 給食ではごみの分別を行ったり、牛乳パックのリサイクルに取り組んだりした。毛筆の練習プリントは裏紙を使うようにした。古紙でごみを捨てる袋や輪飾りを作った。廃棄物の削減やごみ分別に貢献することができた。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ・日常生活や学習を通して取り組める内容が多く、来年度以降も持続可能な取り組みだと感じたため。 ・ごみの分別、4R、エコ活動について、教科書で学ぶだけでなく、実際の学校生活に結び付けた活動に取り組むことができた。 【今後の課題】 ・水やりについては、じょうろに水を入れる際節水は呼び掛けていたが、雨水の活用には至らなかった。 ・児童一人一人が意識できるように全体に日常的に何度も声掛けを行う。 【次年度への引継ぎ事項】
		2	社会科の学習で学んだことを生かし、学校内でできるごみの分別や、4R、エコ活動につなげていく。	4年担任	児童		
		3	植物の栽培で、ペットボトルをじょうろとして使用する。水やりに雨水を活用する。	1年2年3年担任	教職員 児童		
		4	国語科「自然環境を守るために」の学習の中で、松浪小学校の環境づくりについて考える。	5年担任	児童		
		5	給食のパン・ストローの分別を行いリサイクルに取り組む。牛乳パックを洗って乾かし、古紙のリサイクルに取り組む	全学年担任	教職員 児童		
環境についての学習	植物の栽培等を通して子供たちの自然を大切に育てる心育てる。	1	1人1鉢栽培の実施。理科の授業の中で、自ら選んだ夏野菜、ホウセンカ、大豆、オクラなど、栽培や蚕の飼育を行う。	1年、2年、3年担任	児童	1. 生活科で、あさがおの栽培を行い、種まきから観察、種の収穫、枯れた蔓を利用したリース作りを行った。欠かさず世話をする様子や蔓のリース作りでは支柱から丁寧を外す様子が見られた。自ら選んだ野菜を自分の鉢で育てる活動に取り組み、栽培方法を自ら調べて工夫する姿や毎朝声をかける姿が見られた。栽培を通して、自然を大切に育てる心育てることができた。 2. 県立辻堂海浜公園でマリーゴールドなどの植栽活動を行った。 ・総合で「花いっぱいプロジェクト」を行い、休耕の花壇に花の苗を植え、世話を継続的に行ってきた。花を育てることで、学校の環境を明るく良いものにしようという心育てることができた。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ・栽培活動を行うことで植物に愛着を持つことができたため。 ・植栽活動を通して、地域や自然により関心をもつとともに、地域の公園を身近に感じる事ができた。 ・花いっぱいプロジェクトの活動を行い、日常的に植物を育てることができた。 【今後の課題】 花の苗を購入するための予算がない。 【次年度への引継ぎ事項】今年度は、職員室前の花壇、東門前の花壇、プランターに植えました。
		2	県立辻堂海浜公園でマリーゴールドなどの植栽活動を行う。	3年担任	児童		
		3	国語科「子ども未来科で何をやる」の学習の中で、松浪小学校の環境づくりについて考える。	5年担任	児童		
			「まつなみ池」(ビオトープ)の環境整備を行う。	理科教科担当	児童		
		校内の花の水やりや植栽活動を行う。	6年委員会	児童			

●写真等の記録：活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



花いっぱいプロジェクト(一人2つの花の苗を植えました。)



花いっぱいプロジェクト(雑草を取り除きました。)

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

日高 恭子

【今後の方向性について】

学校エコ活動については、国語や社会、生活科、総合的な学習の時間など児童の学習とつなげながら、進めてきている。児童自身が実際に活動しながら環境について考える実践が積み重ねられつつある。今年度は、高学年で生活の中の課題を考え取り組む活動で、エコ、リサイクル等、環境についての課題に取り組む児童が多く見られた。これまでの学年での実践の積み重ねの成果であると感じている。また、1人1台タブレットを活用しての調べ学習や発表用資料作成なども活発に行われようになった。今年度の実践を参考にしながら、今後もより自らが環境を守る主体者であるということに気づき、実践できる児童に育てていきたい。